



2019年11月12日
パーソルキャリア株式会社

日本初、ハイクラス人材のキャリア戦略プラットフォーム「iX（アイエックス）」が

今どき 1,000 万円プレイヤーの「夫婦関係」を徹底調査

夫婦円満は8割以上！喧嘩の対処法は？

総合人材サービス、パーソルグループのパーソルキャリア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：峯尾太郎）は、「キャリアに戦略を。」をキーワードに、ハイクラス人材のキャリアを考え、行動するための日本初のプラットフォームサービス「iX（アイエックス）」 < <https://ix-portal.jp/> > を提供しています。

平成30年9月に国税庁が公表した「平成29年分 民間給与実態統計調査」によると、給与所得者全体の平均年収は432.2万円（男性531.5万円、女性287.0万円）となっており、ハイクラス人材を象徴する年収1,000万円以上の人はわずか6%程度という結果が出ています。「iX」では継続的に、このような希少価値の高い今どき1,000万円プレイヤーのさまざまな実態や特徴を、独自に調査しご紹介してまいります。

今回は、いい夫婦の日にちなんで、1,000万円プレイヤーの「夫婦関係」を探るべく、年収1,000万円～1,100万円未満のビジネスパーソン（以下1,000万円プレイヤー）と、日本の平均年収層である年収400～500万円未満のビジネスパーソン（以下、平均年収層）それぞれ「男性」を対象に、比較調査を実施いたしました。

【調査結果】

- ① 年収に関係なく、夫婦円満だと思っている男性が 8 割以上！
- ② 夫婦円満の秘訣は「相手の話を聞くこと」が最多
- ③ 夫婦喧嘩の対処法は「時が過ぎるのを待つ」が多数！
1,000 万円プレイヤーの男性は「普段通り接する」

■ iX統括編集長 清水 宏昭（しみず ひろあき）からの総括コメント

1,000万円プレイヤー、平均年収層ともに、男性は「夫婦関係」が円満だと答えた人が非常に多いことがわかりました。「夫婦円満の秘訣」についても、「相手の話を聞くこと」が最多となり、両者に大きな違いはありませんでした。

「夫婦喧嘩の対処法」については、両者とも「時が過ぎるのを待つ」が最も多かったものの、平均年収層と比較して1,000万円プレイヤーは「普段通り接する」と回答した人が2倍以上も上回っていました。

ビジネスでは状況を的確に見極める冷静さは欠かせません。1,000万円プレイヤーは、職場で多くの部下と向き合い、さまざまな問題を解決していくことが求められます。最近ではマネジメントにコーチングの手法を取り入れることも増えつつあり、仕事で身に付けたスキルを普段から家族との関係にも活かしているため、仲直りに特別な行動を取らない傾向が高いのかもしれない。



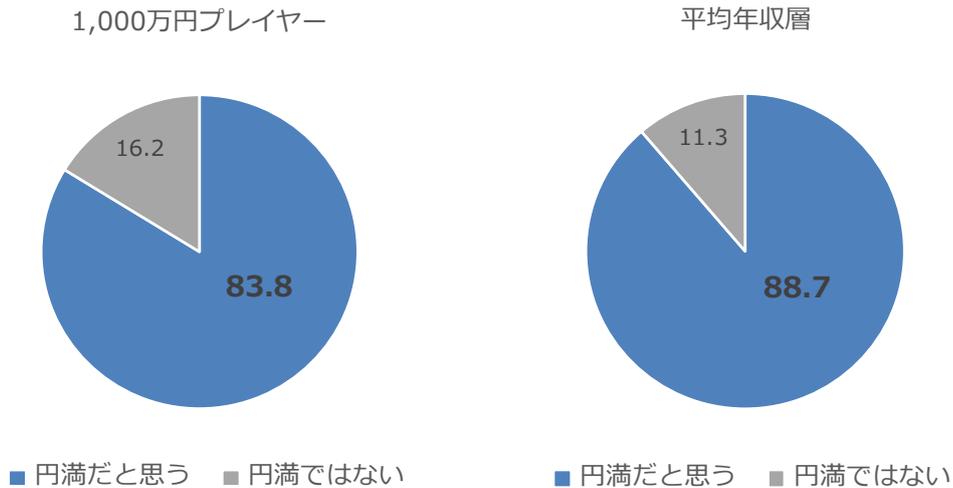
① **年収に関係なく、夫婦円満だと思っている男性が8割以上！**

1,000万円プレイヤーと平均年収層の男性それぞれに夫婦関係について調査したところ、両者ともに「円満だと思う」と回答した人が8割以上となりました（1,000万円プレイヤーの男性83.8%、平均年収層の男性88.7%）。年収に関係なく、夫婦関係は円満だと思っている男性が圧倒的多数であることが判明しました。

【グラフ①】夫婦関係は円満だと思いますか。（男性のみ）

（全体N=440、1,000万円プレイヤーn=326、平均年収層n=114 それぞれ単回答）

（単位：％）



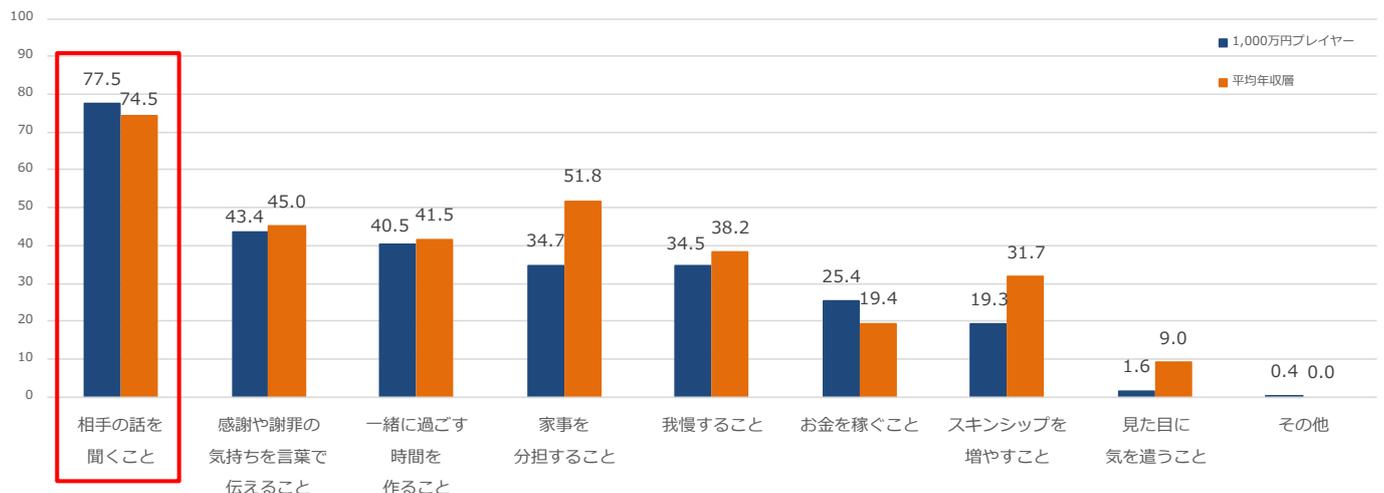
② **夫婦円満の秘訣は「相手の話を聞くこと」が最多**

続いて夫婦円満の秘訣について調査したところ、1,000万円プレイヤーの男性、平均年収層の男性ともに最も多かったのは「相手の話を聞くこと」という回答でした。一方で、「家事を分担すること」や「スキンシップを増やすこと」が夫婦円満だと考える人は、平均年収層の男性に多い傾向が見られました（家事の分担：1,000万円プレイヤーの男性34.7%、平均年収層の男性51.8%／スキンシップを増やすこと：1,000万円プレイヤーの男性19.3%、平均年収層の男性31.7%）。

【グラフ②】夫婦円満の秘訣としてあなたが大事だと思っていることは何ですか。（男性のみ）

（全体N=374、1,000万円プレイヤーn=273、平均年収層n=101 それぞれ複数回答）

（単位：％）

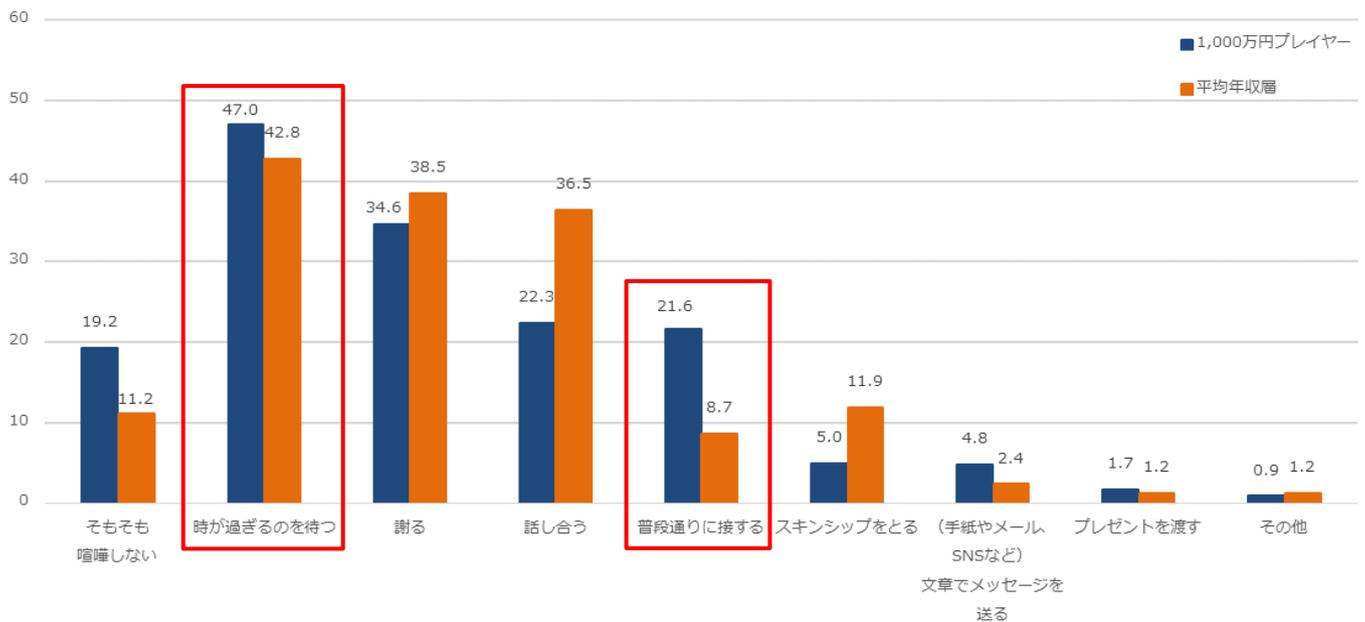


③ 夫婦喧嘩の対処法は「時が過ぎるのを待つ」が多数！
1,000万円プレイヤーの男性は「普段通りに接する」

さらに夫婦喧嘩した際の対処法についても調査したところ、1,000万円プレイヤーの男性、平均年収層の男性ともに「時が過ぎるのを待つ」が最多という結果になりました（1,000万円プレイヤーの男性47.0%、平均年収層の男性42.8%）。しかし、「普段通りに接する」と回答した人に関しては、1,000万円プレイヤーの男性が平均年収層の2倍以上も上回ることが分かりました（1,000万円プレイヤーの男性21.6%、平均年収層の男性8.7%）。

【グラフ③】夫婦喧嘩した時、あなたご自身がとる対処法として多いのは何ですか。（男性のみ）
（全体N=440、1,000万円プレイヤーn=326、平均年収層n=114 それぞれ複数回答）

（単位：％）



<調査概要>

- ・ 調査期間：2019年8月
- ・ 対象：一都三県（東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県）に住む会社勤めのビジネスパーソン男性（役員経営者、フリーランスは除く）計440名
 - ① 30代～50代で年収1,000万円台（1,000万円～1,100万円未満）326名
 - ② 20代～40代で年収400万円台（400万円～500万円未満）114名
- ・ 集計方法：分析においてはウエイトバック集計を行い、総務省「就業構造基本調査」2017年全国を性年代別、雇用形態別割合にあわせて補正したうえで分析することで、妥当性を担保しています。
- ・ 調査方法：インターネットによるアンケート回答方式

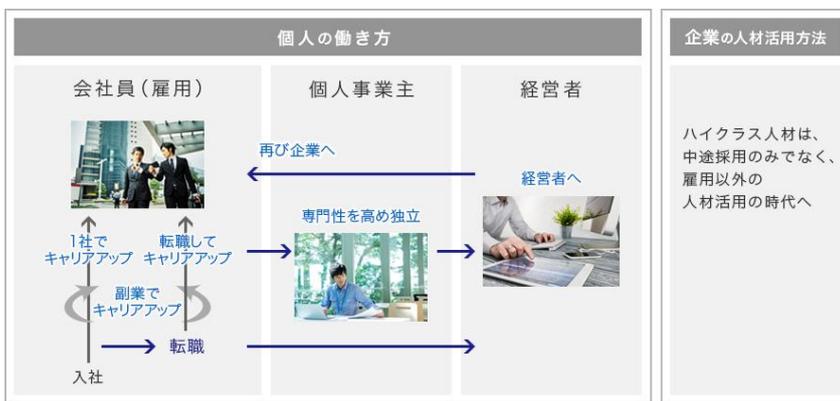
■ 「iX (アイエックス)」とは < <https://ix-portal.jp/> >

厚生労働省が2016年8月に発表した「働き方の未来2035」^{※1}では、2035年には、労働市場の変化や技術革新により、企業はミッションや目的が明確なプロジェクトの塊となり、人が事業内容の変化に合わせて、柔軟に企業の内外を移動する働き方が増えることや、個人の多様な働き方が可能となり、自身の専門的な能力を活用して自律的、主体的に活動できる社会に変化することが予想されています。

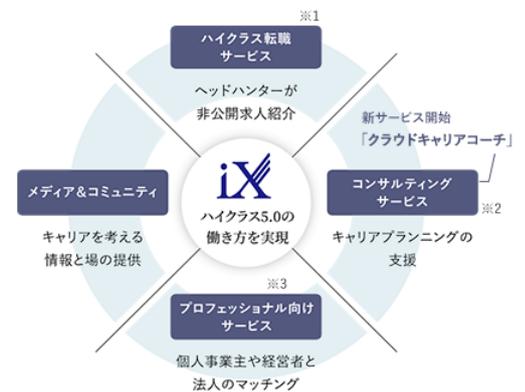
※1厚生労働省「働き方の未来2035」(2016年8月) : <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-Seisakutokatsukan/0000133449.pdf>

しかしながら現在の日本では、総合職としての新卒一括採用が主流となっており、学生、社会人を問わず、自身のキャリアについて主体的に考える機会が少ないというに、情報や手段も入手しづらいため、キャリアを戦略的に描くことが難しい状況です。

「iX」は、このような社会課題の解決に向けて、**キャリアを戦略的に築くことを目指す人のパートナー**として、さまざまな「情報」と「選択肢」を提供するサービスです。一つの企業でキャリアを積みだけでなく、転職や副業(複業)、独立、起業などの選択肢が存在する「正解のないハイクラス5.0時代^{※2}」において、**ハイクラス人材やハイクラスを目指す方が高い価値を発揮して通用し続けるための転職サービスをはじめ、4つのサービスを提供してまいります。**



「正解のないハイクラス 5.0 時代」イメージ



「iX」提供サービスイメージ

※2 「正解のないハイクラス5.0時代」：①一つの企業でキャリアを積み②転職してキャリアを積み③グローバルでキャリアを積み④副業(複業)でキャリアを積み⑤独立・起業して活躍するなど、多様化が進むハイクラス人材の働き方を表現した造語です。さまざまな選択肢があるものの正解がなく、個々人のキャリア選択の意志・主体性をより求められる時代を示しています。

■ 「iX」が提供する4つのサービス

① **ハイクラス転職サービス** < <https://ix-tenshoku.jp/> >
ハイクラス人材に「キャリアの選択肢」を提案するヘッドハンターと出会うサービスを提供します。 希少性の高い非公開求人を取り扱うヘッドハンターが、登録者の市場価値向上を考えながら転職活動を長期的にサポートします。

② **コンサルティングサービス**
 コーチとの対話によりキャリアの課題を整理し、市場価値向上を目指すサービス「クラウドキャリアコーチ」 < <https://ix-portal.jp/career-coach/> > など、ハイクラス人材のキャリアプランニングを支援します。

③ **メディア&コミュニティ**
 今、そしてこの先も通用するキャリアを考えるための情報を提供するサービスです。

④ **プロフェッショナル向けサービス** ※2020年以降、提供予定
 独立した個人事業主や経営者を支援するサービスです。



ハイクラス転職サービス サイトイメージ

■ iX統括編集長 清水 宏昭（しみず ひろあき）の想い

「iX」は、ハイクラス層やそれを目指す方が更に活躍できるために、ハイクラス転職サービスにとどまらず、「キャリア戦略のパートナー」として、「情報」や「選択肢」の提供を目指しています。転職や副業（複業）、独立、起業など、正解がなくさまざまなキャリアの選択肢がある現代において、前向きに自身のキャリア戦略を考え、主体的に選択することをサポートしたいと考えています。

日本では、ジョブローテーションを前提とした新卒一括採用が主流となっているため、自身のキャリアを戦略的に考える機会や、そもそもの考え方を学ぶ機会がほとんどありません。今とは別の環境の方が力を発揮できる方、一方で今の環境が一番向いている方、どんな環境にいらっしゃる方も正しい情報を知り、自信を持って働くことが出来るようになれば、社会の発展にも貢献できるのではないかと考えています。

私自身もキャリアに悩み、葛藤した時期がありました。悩みながらも新卒で入った会社で仕事を続け、結局転職した時には社会に出てから18年が経過していました。

私の他業界と人材業界での経験、転職の際に困った経験に加え、ハイクラス層のニーズを徹底的に調査した結果、大多数が同じことに困っていることが判明し、既存サービスでは対応できていないニーズが多いことがわかりました。「iX」はユーザーファーストをポリシーに、必要な機能やサービスを提供してまいります。「キャリアを戦略的に築くことを目指す人のパートナー」として、さまざまな方の働く未来をより一層充実させる一助となれば幸いです。

■ iX統括編集長 清水 宏昭（しみず ひろあき）プロフィール

1998年3月、立教大学社会学部観光学科卒業。新卒にて1998年4月、株式会社オリエンタルランド入社。東京ディズニーランドのスーパーバイザーを経て、マーケティング部門へ異動。東京ディズニーリゾートの事業戦略およびマーケティング戦略の責任者として、企画立案から実行までを統括。在任中に、東京ディズニーシー限定キャラクター「ダッフィー」のブランドマネージャーとして、関連売り上げを2倍に引き上げる。

2015年6月、株式会社インテリジェンス（現社名：パーソルキャリア株式会社）入社。転職サービス「DODA」（現転職サービス：「doda」）のブランド力向上や戦略課題の解決を目的としたリブランディング計画の立案・実行・推進と同時に、広報部の立ち上げにも従事。広報部長として戦略的PRに取り組む。

2018年1月より、新規事業開発責任者に就任。**ハイクラス人材のキャリア戦略プラットフォーム「iX（アイエックス）」** < <https://ix-portal.jp/> > を立ち上げる。



■ パーソルキャリア株式会社について < <https://www.persol-career.co.jp/> >

パーソルキャリア株式会社は、パーソルグループの「リクルーティングセグメント」中核会社として、**一人々に「はたらく」を自分のものにする力を**をミッションとし、転職サービス「doda」やハイクラス人材のキャリア戦略プラットフォーム「iX」をはじめとした人材紹介、求人広告、新卒採用支援等のサービスを提供しています。2017年7月より、株式会社インテリジェンスからパーソルキャリア株式会社へ社名変更。グループの総力をあげて、これまで以上に個人の「はたらく」にフォーカスした社会価値の創出に努め、社会課題に正面から向き合い、すべての「はたらく」が笑顔につながる社会の実現を目指します。

■ 「PERSOL（パーソル）」について < <https://www.persol-group.co.jp/> >

パーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」やアルバイト求人情報サービス「an」、ITアウトソーシングや設計開発など、人と組織にかかわる多様なサービスを展開しています。

また、人材サービスとテクノロジーの融合による、次世代のイノベーション開発にも取り組んでおり、市場価値を見いだす転職サービス「ミイダス」、ITイベント情報サイトおよびイベント&コミュニティスペース「TECH PLAY」、オープンイノベーションプラットフォーム「eiicon」、クラウド型モバイルPOSシステム「POS+（ポスタス）」などのサービスも展開しています。

問い合わせ先 パーソルキャリア株式会社（旧社名：インテリジェンス） 広報部
TEL：03-6757-4266 FAX：03-6385-6134 pr@persol.co.jp